

事務連絡

平成22年10月18日

(別記) 関係団体の長 殿

厚生労働省チーム医療推進のための看護業務検討
ワーキンググループ事務局

看護業務実態調査に関するアンケート調査の実施について (依頼)

現在、厚生労働省では、「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会 取りまとめ)を受けて、本年5月12日に「チーム医療推進会議」を設置するとともに、同月26日には同会議の下に「チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループ」を設置し、チーム医療を推進するための看護業務の在り方等、同報告書において提言された具体的方策の実現に向けた検討を進めているところです。

今般、チーム医療推進会議において、チーム医療を推進するための看護業務の在り方について検討を行うに当たり、現在の看護業務の実態等に関する全国的な調査を実施することとされたことを受け、本年7月から9月にかけて、看護業務実態調査が実施されたところです。具体的には、現在、看護師が実施している業務の内容や、今後、看護師が実施することが可能と考えられる業務、特定看護師(仮称)制度が創設された場合に特定看護師(仮称)が実施することが可能と考えられる業務の内容について、臨床に従事する医師及び看護師に対して調査を実施しました。

本ワーキンググループとしては、看護業務実態調査の調査項目の中に看護師と看護師以外の医療関係職種との連携に関する項目が含まれていたことにかんがみ、今後、チーム医療を推進するための看護業務の在り方について検討を進めるに当たり、看護師とともにチーム医療に取り組む医療関係職種の職能団体の皆様から当該項目等に関する御意見等を伺う必要があると判断し、本アンケート調査を実施することとしました。

貴職におかれましては、別添(回答様式)に御記入の上、平成22年11月19日(金)までに、厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室あて提出いただきますようお願いいたします。なお、御回答いただいた内容は、本ワーキンググループ並びにチーム医療推進会議及びチーム医療推進方策検討ワーキンググループにおいて公表することがありますので御承知おきください。また、別紙として看護業務実態調査の結果概要を添付いたしますので、御参照ください。

(別添)

回答様式

団体名 _____

Q 1 看護業務実態調査の結果（別紙 p. 1～4）で、今後、看護師が実施可能と回答があった業務・行為について、どのようにお考えですか。

Q 2 看護業務実態調査の結果（別紙 p. 5）で、現在看護師が行っている業務・行為のうち、看護師以外の職種による実施が適当との回答があった業務・行為について、どのようにお考えですか。

Q 3 チーム医療の推進の観点から、医師・看護師と分担・連携することができる業務（今後実施が可能と考えられる業務を含む。）等について御記入ください。

【回答の提出および問い合わせ先】

厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室： team-ns@mhlw.go.jp

(別記)

社団法人 日本薬剤師会

社団法人 日本病院薬剤師会

社団法人 日本理学療法士協会

社団法人 日本作業療法士協会

一般社団法人 日本言語聴覚士協会

社団法人 日本栄養士会

社団法人 日本臨床工学技士会

社団法人 日本放射線技師会

社団法人 日本臨床衛生検査技師会

(B) 研修課程 調査試行事業

研修課程名(分野名)	(B-1) 日本看護協会 看護研修学校(救急)	(B-2) 日本看護協会 看護研修学校(皮膚・排泄ケア)
本養成課程のねらい	<p>・救急看護認定看護師教育課程で履修した基礎知識や技術を基盤とし、さらに高度な病態生理学と臨床推論、救命救急処置の追加教育を本養成課程で受け、医師の包括的指示のもとに救急患者の病態管理を行える特定看護師(仮称)を目指す。</p> <p>・医師の包括的指示のもとに、初期、二次、三次救急医療施設等における救急患者を対象に臨床検査や放射線検査等の実施の決定や評価を行う。また、入院適応のない上気道炎等の患者に対する薬剤の選択と使用の決定、酸素療法決定や痙攣患者等の薬剤投与の決定、昏睡または心停止に対する気管挿管等早期に救命救急処置を実践する。</p> <p>・救急患者の急病または外傷の治療を促進し、重症化を防ぎ、救急外来における患者の待機時間を短縮する効果が期待される。</p>	<p>・皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程で履修した基礎知識や技術を基盤とし、さらに高度な創傷管理に関する追加教育を本養成課程で受け、医師の包括的指示のもとに創傷管理の医行為を行う特定看護師(仮称)を目指す。</p> <p>・医師の包括的指示のもとに、急性期から亜急性期病院の病棟や創傷に関連する外来等における慢性創傷を有する患者を対象に血液検査や血流検査等の決定および医療機器等を用いた高度なアセスメントを行う。また、デブリードマンや皮膚切開、非感染創の縫合、陰圧閉鎖療法、創傷被覆材や外用薬の決定などの創傷処置を実施する。</p> <p>・患者の慢性創傷の重症化や治療遅延を防ぎ、早期に治療を促進させることで治療期間の短縮、それに伴う入院期間の短縮などの効果が期待される。</p>
目標とする学習成果(時間数)	10単位/240時間(31単位 690時間は履修済み) 1単位/15時間(4単位 60時間は履修済み)	11単位/240時間(28 4単位 681時間は履修済み) 1単位/15時間(5単位 75時間は履修済み)
フィジカルアセスメント 単位数・時間数	救急診断学 (アセスメントとケア I フィジカルアセスメントは履修済み) (アセスメントとケア II 論法検査、画像診断、採血・尿検査、検査結果と管理、創傷評価と管理、臨床推論は履修済み) (アセスメントとケア III 小児・高齢者・妊産婦のフィジカルアセスメントは履修済み)	アドバンスド創傷のアセスメント (創傷ケア総論 I・II、創傷ケア各論 I・II、感染対策学は履修済み)
臨床実理学 単位数・時間数	2単位/30時間 臨床実理学 I 臨床実理学 II	2単位/30時間(0 4単位 6時間は履修済み) 臨床実理学 I 臨床実理学 II (皮膚・排泄ケア概論 I 内臨床実理学は履修済み)
病態生理学 単位数・時間数	2単位/30時間(4単位 60時間は履修済み) 病態学特論 救急病態生理学特論 (病態とケア I 機転と生体反応は履修済み) (病態とケア II 脳血管障害、急性呼吸不全、急性循環不全、多発外傷、熱傷は履修済み) (病態とケア III 急性薬物中毒と精神科救急は履修済み)	2単位/30時間(3単位 45時間は履修済み) 病態学特論 創傷病態生理学 (ストーマケア総論 I・II、失禁ケア総論は履修済み)
演習 単位数 時間数	2単位/60時間(11単位 240時間は履修済み)	1単位/30時間(6単位 180時間は履修済み)
実習 単位数 時間数	2単位/90時間(5単位 225時間は履修済み)	2単位/90時間(5単位 240時間は履修済み)
全教員・指導者数 (内場 医師の教員・指導者数)	20人(13人)	32人(18人)
養成数(予定数)	6人	6人
実習施設	■病院 □診療所 □老人保健施設 □訪問看護ステーション □その他	■病院 □診療所 □老人保健施設 □訪問看護ステーション □その他

注1 詳細については確認中
注2 フィジカルアセスメント、臨床実理学、病態生理学、演習科目には選択科目及び再掲科目を含む

(B) 研修課程 調査試行事業

研修課程名(分野名)	(B-3) 日本看護協会 看護研修学校(感染管理)
本養成課程のねらい	<p>・感染管理認定看護師教育課程で履修した基礎知識や技術を基盤とし、さらに医療関連感染症に特化した追加教育を本養成課程で受け、医師の包括的指示のもとに微生物検査の判断や抗菌薬の適正性の監査、医療従事者の針刺しなどによる血液・体液曝露後の予防策を実施できる特定看護師(仮称)を目指す。</p> <p>・医師の包括的指示のもとに、医療施設において感染管理に必要な感染症検査を迅速に決定し、医療関連感染症の疑いのある患者や、流行性ウイルス疾患発生が疑われる場合の検査の実施決定、評価を行う。また、針刺事象発生時に対象者に必要な検査を決定し、実施、評価を行う。</p> <p>・医療関連感染の早期診断と治療を可能にし、重症化を防ぎ他者への拡大を予防する。早期診断と治療により、治療期間の短縮、入院期間の短縮などの効果が期待できる。また、針刺事象発生等による医療従事者の感染を予防する効果が期待できる。</p>
目標とする学習成果(時間数)	11単位/240時間(30 5単位 660時間は履修済み) 1単位/15時間(1単位 15時間は履修済み)
フィジカルアセスメント 単位数・時間数	感染症アセスメント学 (微生物・感染症学 I は履修済み)
臨床実理学 単位数・時間数	2単位/30時間(1単位 15時間は履修済み) 臨床実理学 I (微生物・感染症学 II は履修済み) 臨床実理学 II
病態生理学 単位数・時間数	2単位/30時間(1単位 15時間は履修済み) 病態学特論 病態生理学特論(感染症) (微生物・感染症学 III は履修済み)
演習 単位数 時間数	1単位/30時間(5 5単位 165時間は履修済み)
実習 単位数 時間数	2単位/90時間(4単位 180時間は履修済み)
全教員・指導者数 (内場 医師の教員・指導者数)	22人(15人)
養成数(予定数)	6人
実習施設	■病院 □診療所 □老人保健施設 □訪問看護ステーション □その他